



# 第1.3版から第1.4版：レインフォレスト・アライアンス農業基準の変更点

農場要件

2025年8月19日 | 一倉 千恵子 上松 紀代子

## 変化が必要

- 私たちは転換点に差し掛かっている。



農地土壌の半数以上が、中程度または著しく劣化している。



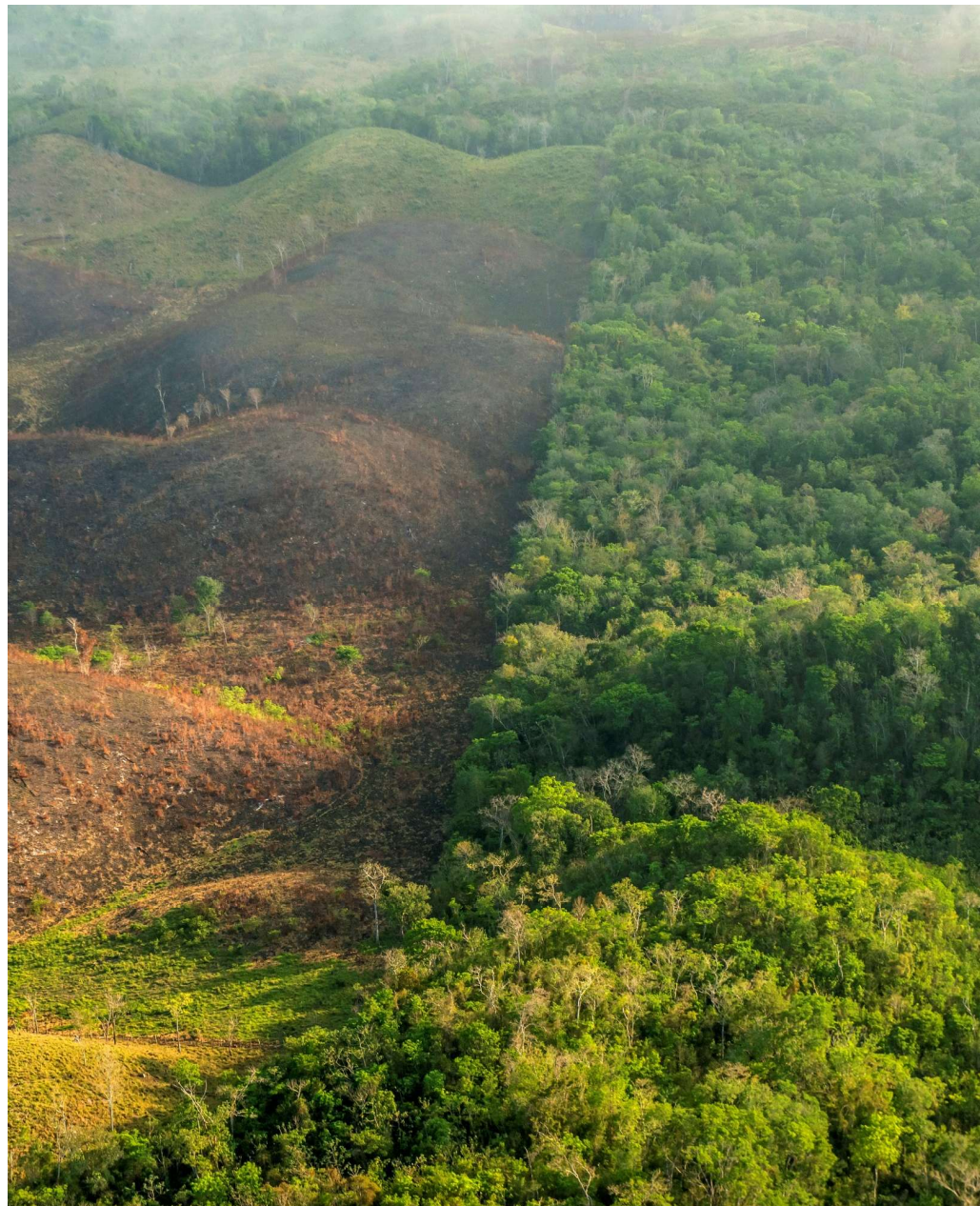
気候変動はすでに収穫に影響を及ぼしている。



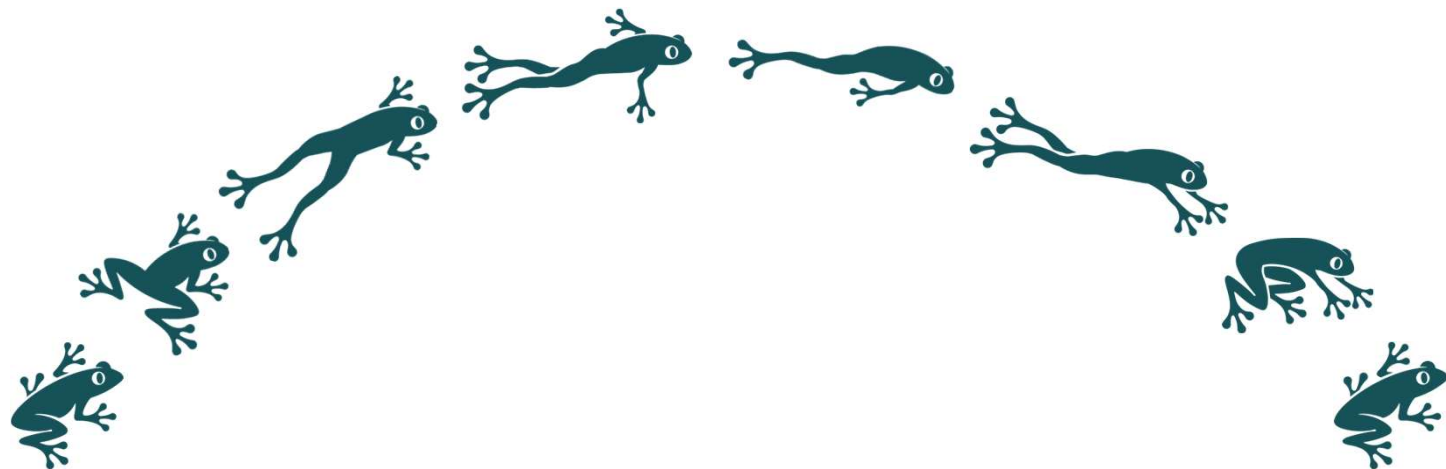
食料の需要はますます高まっている。



かつて経験したことのないスピードと規模で、誰もが丸となって行動する必要がある。



## 私たちの世代が求めるもの



**持続可能性**

“害を及ぼさない”

**再生可能性**

“修復と復元”

## ソリューション 規模と速さ

2030年までにアライアンスを農業生産者と林業コミュニティの1億人に拡大します。

なぜ1億人なのか？

これは熱帯の森林地域  
で働く約5億人の生産  
者の約20%にあたる。

750万人



1億人





## 2030年目標に向けた解決策の詳細

私たちの検証



オンパックマークと表示



オンパックマークと表示



オフパック表示

すべての解決策に  
加えて

高業績者への追加オファー

ハードルを上げる

認証プログラム

持続可能な農業

そして/  
または

再生農業

そして/  
または

気候

そして/  
または

生計

他と一線を画す

リスク評価

持続可能な農業

そして/  
または

再生農業

そして/  
または

気候

そして/  
または

生計

持続可能性のリスク  
を評価する

データ

法令順守（EUDRなど）をサポートし、上に行くほどインパクトのあるデータを提供する。

プロジェクトの機会

影響力を強化し、さらに前進させるための、現場でのさまざまなオプション・プロジェクト。

貴社のインパクトを  
強める



はじめに





## 認証プログラム関連文書

### レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準 農場要件

A-I-S-B-F  
第14版  
JP

RAINFOREST  
ALLIANCE

#### 付属文書：拘束力のある文書

- 認証に際して遵守する必要があります。

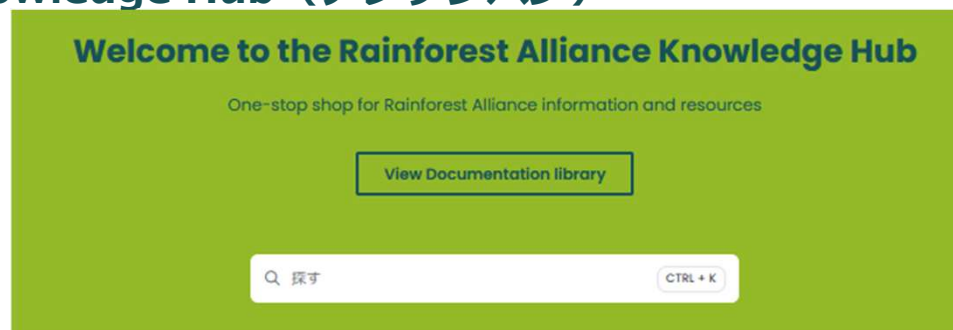
#### 方針：拘束力のある文書

- 特定の状況や文脈また、特定の地域や作物に適用される場合があります。
- 認証に際して遵守する必要があります。

#### 手引書：拘束力なし

- 要件の実践に役立ちますが、認証に際して遵守は必須ではありません。

#### Knowledge Hub（ナレッジハブ）



# 持続可能な農業基準 第1.4版の 段階的導入に関する方針



## 持続可能な農業基準 第1.4版の適用

**2025年10月1日以降に行われるすべての審査**は、レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準第1.4版の適用対象となります。

以下の改訂された文書が拘束力を持つようになります。

持続可能な農業基準 第1.4版 農場要件

付属文書 管理（第1.1版）

付属文書 トレーサビリティ（第1.3版）

付属文書 プレミアム（第1.3版）

付属文書 農業（第1.3版）

付属文書 社会（第1.2版）

付属文書 環境（第1.2版）

付属文書 指標（第1.0版）

付属文書 用語集（第1.4版）

以下の保証規則に関する文書は、10月1日には拘束力を**持ちません**。

Certification Rules for Farm v1.1（農場向け認証規則（第1.1版））

Auditing Rules for Farm v 1.1（農場向け審査規則（第1.1版））

参照：  
「持続可能な  
農業基準 第  
1.4版の段階  
的導入に関す  
る方針」

## 農場向け認証および審査規則

- 10月1日またはそれ以降に審査を開始する認証保有者は、第1.4版に対応する要件リストと自己査定リストを取得する必要があります。
- 指標データの提出は第1.4版に対応するためRACP上の新しい報告ツールを使用します。
- これには8月1日以降にRACP上で自身の認証範囲の（再）確認が必要

参照：

「持続可能な  
農業基準 第  
1.4版の段階  
的導入に関す  
る方針」

「RACPマ  
ニュアル：指  
標データの報  
告」



License Code: RAI29-002393  
License Status: Pending

Certification scope

Confirm scope and view requirements

注意：6月5日よりRACP上でライセンスを更新するためのボタンが無効になっています。更新が必要な場合は [customersuccess@ra.org](mailto:customersuccess@ra.org) まで。

- 認証及び審査は現行バージョンの保証規則（Certification Rules v1.0（認証規則 第1.0版）およびAuditing Rules v1.0（審査規則 第1.0版））に基づき実施されます。

## 認証手順のスケジュール



参照：  
[認証規則 1.0版](#)  
 P30

## 審査前に提出が必要な情報

審査計画のために以下の情報の準備および提出が必要です。提出が確認できない場合、認証機関は審査計画の共有ができず、また予定している審査を延期することができます。

- a. 圃場/施設、加工設備、仲買人、下請業者、および業務委託先の詳細を含む認証範囲情報（RACP で提供）
- b. 認証申請書（CAF）
- c. 管理計画
- d. 自己査定（RACP で提供）
- e. 団体構成員登録（GMR）（RACP で提供）
- f. データのアップロード後に RACP から得られる位置情報データリスク査定（基準で必要とされている座標とポリゴンの組み合わせ）（RACP で提供）。
- g. 指標データ（RACP で提供）

参照：  
認証規則 1.0版  
2.1.39

## 審査中の義務

- a. 審査前、審査中、および審査後に、審査団によって伝達されたすべての審査作業への対応
- b. 審査団に対して全面的に協力する
- c. 審査団に対して、審査作業の全過程において、CH の認証範囲を評価するために必要なすべての施設、区域、および資料・情報の利用を全面的に提供する
- d. 認証/審査範囲内で必要とされる地点間の移動(例えば、農場間、施設間、下請業者、仲介人、労働者派遣業者、業務委託先への往復)に対しては、審査団に陸上の移動手段を提供する
- e. 労働者に対し、強要したり、用意した回答を指導/訓練したりすることなく、面接に応じさせること
- f. 必要な文書へのアクセスを提供する
- g. CH およびその代表者は、労働者と審査団を威圧しないように、労働者の面接中は目立たない場所にいること
- h. 審査過程に関与する労働者に対して公正かつ公平なレートで報酬を支払う
- i. 審査団が面接を行うための専用施設を、必要に応じて提供し、面接を受けた労働者の名前や部門、または CH が面接を受けた労働者を追跡できるようなその他の情報を記録してはならない
- j. 面接を一切記録しない
- k. 当該職員が、面接を含む審査作業に悪意を持って、または審査を中断する意図で介入しないことを保証する
- l. CB 決定を受け入れ、審査過程、結果、または認証決定に意見の相違がある場合は、苦情処理に関する項目に記載されている苦情処理手続きに従って申し立てる

参照：  
認証規則 1.0版  
2.3.1

# 簡素化に関する方針

## 簡素化に関する方針

**10月1日までに審査を受ける場合、基準第1.3版が適用になります。**

→指標データの報告、適用要件、自己査定 = 第1.3版

第1.4版に含まれない第1.3版の要件には適用要件リスト、自己査定に「非必須/Not mandatory」と記載されています。

認証保有者はそれらの要件に関する不適合を解消する必要はありません。

また第1.4版の内部監査に関する変更を**監視審査**を受ける生産者団体の認証保有者は適用することが可能です。

→小規模農場に対しては35%、大規模農場に対しては100%の内部監査率の適用。

→審査員に簡素化に関する方針を適用する旨を審査前に伝えてください。

参照：

「簡素化に関する方針」

**注意：**第1.3版の適用を受ける生産者はナレッジハブより第1.3版を反映する適用要件をダウンロードしてください。





## 変更点の概要

## 1.3版から1.4版へ：変更点

### 構造の簡素化：

- 要件の数：約**30%**削減
- 指標/データ項目の数：約**50**に削減

### どのように？

- 基準および生産者にとって価値が低い、または直接関連のない要件や指標を**削除**。
- 要件の言語、詳細レベル、複雑さをより理解しやすく**簡素化**
- **複雑性の低減**：7つのカテゴリーの指標項目から3つのカテゴリーのデータ項目に
- 一部の要件を新しい専門分野認証解決策に**移行**

# 構造上の変更点

持続可能な農業基準第1.4版には、以下の3種類の要件が含まれます。  
「基本要件」「専門要件」「継続的改善要件」

項目名  
要件が何に関する項目かを示しています

基本要件

専門要件：

継続的改善要件  
個々のニーズに合わせて設定され、認証の第2周期にのみ適用されます

0.0 要件の主題					
番号	基本要件	団体認証			個別認証
		小規模農場	大規模農場	団体責任者	小規模/大規模
1.1.1	(要件の文言)		✓	✓	
番号	専門要件				
1.1.2	(要件の文言)			✓	✓
番号	継続的改善要件				
1.1.4	(要件の文言)	✓	✓	✓	

チェックマーク  
要件が適用される認証の種類および関係者を示しています

## 要件の簡素化

- 表現の改善により明確性を高め、解釈の一致を図る
- 要件の統合（可能な場合）  
（例：委員会に関する要件を統合）
- よりスムーズな利用のため項目の再編成  
（例：「第1章 管理」に含まれた団体交渉協定に関する項目を「第5章 社会」に移行）
- 内部監査の取り組みについての簡素化  
（例：小規模農場については初回認証審査後、少なくとも35%が対象）
- 内部監査員：1日に実施できる監査の数に制限はなし

## 注意点

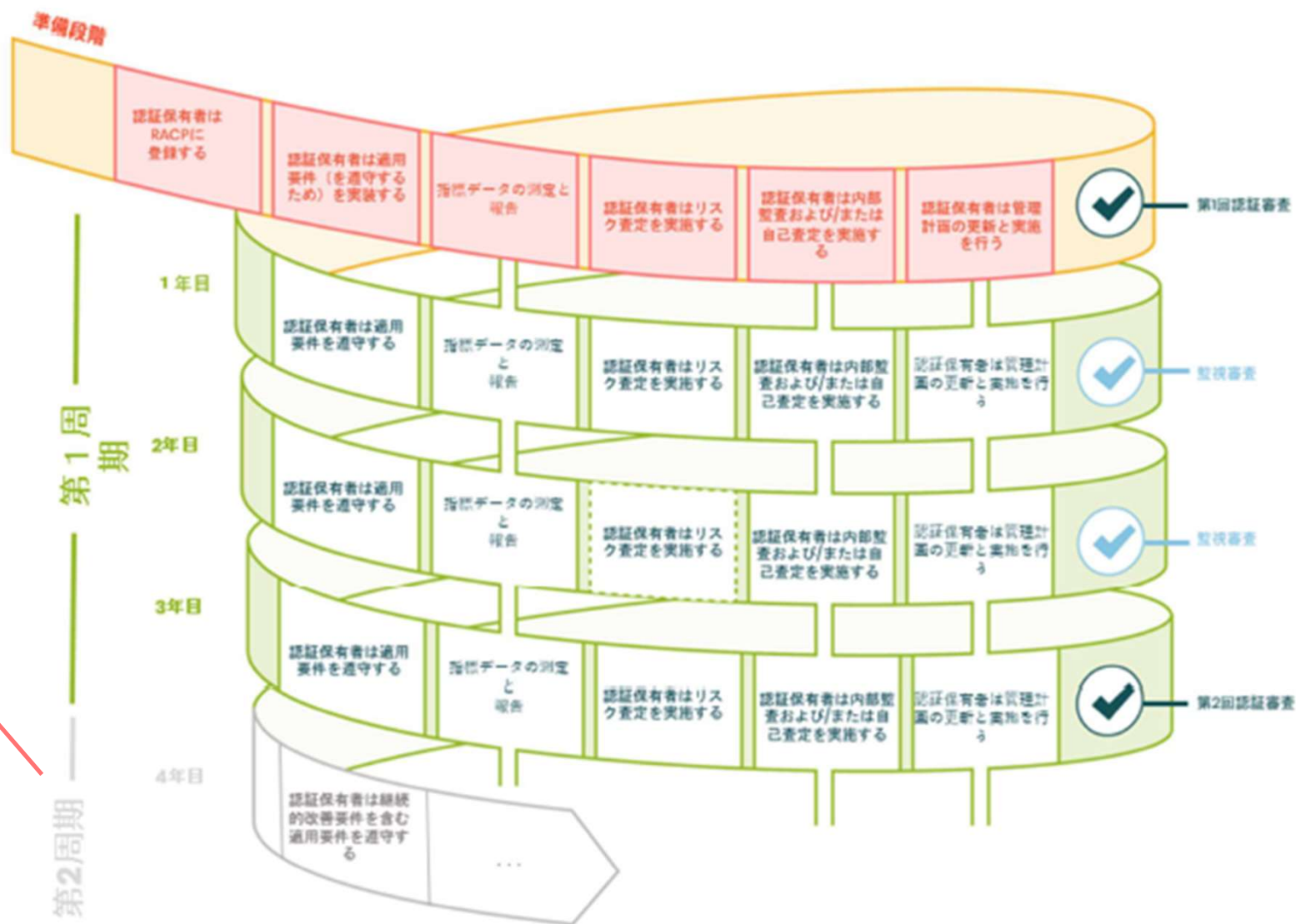


認証周期はリセットされません。



認証書とライセンスの発行ではなく、認証書のみの発行になります。

注) 但し、移行期間は上記と異なります。



継続的改善要件は第2認証周期から適用

# 第1章：管理



# 第1章：管理 項目

- 1.1 管理
- 1.2 運営
- 1.3 リスク査定および管理計画
- 1.4 内部監査および自己査定
- 1.5 苦情解決制度
- 1.6 ジェンダー平等
- 1.7 指標データ

## 関連資料

[付属文書 管理（第1.1版）](#)  
[付属文書 指標（第1.0版）](#)

### 位置情報データの収集

- 認証製品が森林伐採地域や保護地域から来ていないことの確認
- GPSポリゴンによる正確な農場規模データ

### リスク査定と内部監査

- リスクを特定し、緩和策と適応策の定義
- 監査による継続的な改善と遵守の確保

### ジェンダー平等

- すべての人に平等な権利と機会
- 強靱で公正性を備えた農業システムに不可欠

## 変更点の概要：管理

- **管理能力査定ツール**の使用が**任意に**
- 1日に実施できる内部監査の**回数が上限なしに**
- 生産者団体を対象とした**内部監査**は、1年目以降、新しい内部監査範囲の導入により、**削減**
- **研修**および研修の間隔を**明確に規定**
- **位置情報データおよびポリゴン**の提供方法を**調整**

# 変更点の概要：管理

## 主な変更点

## 削除された要件

内容は1.1.1に統合 { 1.1.2,  
1.1.5,  
1.2.11,  
1.2.14 L1  
(3年目),  
1.2.15 L2  
(6年目),  
1.3.5,  
1.3.6,  
1.3.7,  
1.4.4,  
1.4.5 L1  
(3年目),  
1.4.6 L2  
(6年目),  
1.6.3,  
1.7.1

1.1.1	管理	調整：1.1.5に労働安全衛生委員会（5.6.17）を含む委員会を設置する内容を追加しました。 適用対象：大規模農場および個別認証を追加しました。認証
1.2.1	運営	調整：団体交渉協定（CBA）に関する記述を5.3.3に移動しました。 追加：適用範囲を明確にしました。
1.2.2	運営	調整：これらの関係者がコンプライアンスを遵守するために整備すべき仕組みの一部として、契約を明確に示しました。 追加：適用範囲を明確にしました。
1.2.3	運営	（旧1.2.4）明確化のため、文言を変更しました。
1.2.4	運営	（旧1.2.5）調整：福利厚生を賃金の一部として明確に示しました。軽労働と若手労働者の年齢を明確にしました。追加：適用範囲を明確にしました。
1.2.5	運営	（旧1.2.6）調整：福利厚生を賃金の一部として明確に示しました。
1.2.6	運営	（旧1.2.7）調整：レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準を、レインフォレスト・アライアンス基準に置き換えました。
1.2.7	運営	（旧1.2.8）明確化：両当事者による合意書の締結を明確にしました。 調整：レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準を、レインフォレスト・アライアンス基準に置き換えました。
1.2.8	運営	（旧1.2.9）調整：年数を5年に変更しました。
1.2.9	運営	（旧1.2.10）明確化：地図作成範囲および適用対象を明確にしました。
1.2.10	運営	（旧1.2.12）調整：位置情報に関する記述を更新しました。
1.2.11	運営	（旧1.2.13）明確化のために文章を一部改変しました。
1.3.3	リスク査定および管理計画	調整：研修に関する記述を更新しました。
1.3.4	リスク査定および管理計画	調整：IPM（統合的病害虫管理）戦略およびOHS（労働安全衛生委員会）に関する研修と間隔を規定を調整しました。
1.4.1	内部監査および自己査定	調整：認証1年目以降、および新規認証取得者に対する内部監査の範囲を具体的に記述しました。
1.4.2	内部監査および自己査定	明確化：団体認証保有者による内部監査の活用を明確にしました。
1.4.3	内部監査および自己査定	調整：「（農場の場合）および/または園場や施設」の表記を削除しました。
1.5.1	苦情解決制度	明確化：苦情処理委員会の規約を明確にしました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、大規模農場を削除しました。
1.6.1	ジェンダー平等	明確化：ジェンダー委員会の規約を明確にしました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、大規模農場を削除しました。
1.6.2	ジェンダー平等	適用対象：適用判断の明確化に伴い、大規模農場を削除しました。
1.7.1	指標データ	新しい要件です。

## 管理体制

- 管理能力査定ツールの使用は**必須ではありません**。
- 認証保有者は、**独自の管理システム**を使用できるように。
- **デジタルまたは紙**の文書、どちらでも可。
- この文書は、**内部監査および審査**の際に提出を求められる。
- ツールを必要とする場合には、**管理能力査定ツールは引き続き利用可能**。

## 位置情報データおよびポリゴンの提供方法の調整

位置情報データは、認証製品を追跡可能にするために重要です。**GPSポリゴン**を収集することで、**より正確なデータが提供できます**。

このデータは、例えば農場の規模を分析して生産量を推定するなど、農場管理にも有用です。

第1.3版 = 段階的アプローチ

第1.4版 = 段階的なアプローチを**削除し**、要件を**簡素化**

生産者団体	個別認証農場/生産者団体に属する大規模農場
認証農作物を有しているすべての農場単位の位置情報データを、 <b>すべて（100%）</b> の農場で、提供できるようにする。	各農場単位に関して <b>ポリゴン</b> を提供できるようにする。
<b>少なくとも35%</b> の農場では、この位置情報データをGPSポリゴン形式で提供できるようにする。第2回認証審査までには、すべての農場単位でポリゴン形式を有する必要がある。	

## 研修とその間隔を明確に規定

第1.4版では、研修の内容と間隔がより詳細に指定されています。

生産者団体	個別認証農場/生産者団体に属する大規模農場
<p>少なくとも毎年、以下の研修内容を取り扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 評価を含む適切な内部監査の実践方法（すべての内部監査員向け）</li><li>• IPM戦略に関する研修</li><li>• 労働上の安全衛生および緊急事態時の手順</li></ul>	<p>少なくとも毎年、以下の研修内容を取り扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• IPM戦略に関する研修</li><li>• 労働上の安全衛生および緊急事態時の手順</li></ul>

## 1日あたりの監査数の上限なし

- 内部監査員が1日に訪問して実施できる**内部監査の数を制限**する要件が、**削除**されました。
  - これにより団体責任者は、これが可能な状況において、**1日あたりより多くの内部監査**を実施できるようになります。



## 認証1年目以降の内部監査の範囲の変更により、生産者団体への内部監査が削減

- 要件1.4.1は、**必要な監査数を減らす**ために調整されました。
- 認証1年目の内部監査は、以前の要件どおり、すべての農場を対象に実施される必要があります。

2年目からは、**より規範の少ない、柔軟なアプローチ**が採用されています。

**1年目**以降の内部監査では、以下を対象とします。

- 生産者団体に属するすべて（100%）の大規模農場
- 生産者団体における小規模農場の**少なくとも35%**が対象となり、3年後にすべての小規模農場が監査を受ける
  - これにより各農場が3年に1回監査される**内部監査制度**が構築されことになり、以前のように毎年訪問する必要がなくなります。

**注意：**認証基準は生産者団体全体で遵守するものであり、認証審査は生産者団体全体が対象です。内部監査員が監査を実施した35%のみを対象とするわけではありません。

## 生産者団体への内部監査の実施例

生産者団体認証：3つの大規模農場、20の小規模農場



生産者団体認証：3つの大規模農場、20の小規模農場



## 指標データ

- 要件1.7.1は指標データに焦点を当てています。
- 農場認証保有者は、**審査に先立ちRACPを通じて指標データを毎年報告**します。
- 生産者団体の場合、**団体責任者は、すべての小規模農場のデータを収集、集計、報告し、大規模農場については別途報告**を提出します。
- **審査員は提出されたデータを検証し、その妥当性の確認を行います。**

## 1.7 指標データ

資料：  
「[付属文書](#)  
[指標データ](#)」

「[レインフォレスト・アライアンス](#)  
[手引き：データの](#)  
[収集・検証・妥当](#)  
[性確認](#)」

# 指標データ項目の適用対象

データ項目の適用対象は、チェックマークで示されています。チェックマークは、当該データの収集の責任者に付けられています。**小規模農場が含まれる団体認証**の場合は、チェックマークの有無にかかわらず、**常に団体責任者がデータ収集の最終的な説明責任を負う**ことに注意してください。レインフォレスト・アライアンスのプラットフォームで**データを報告する責任は、常に団体責任者が負います。**

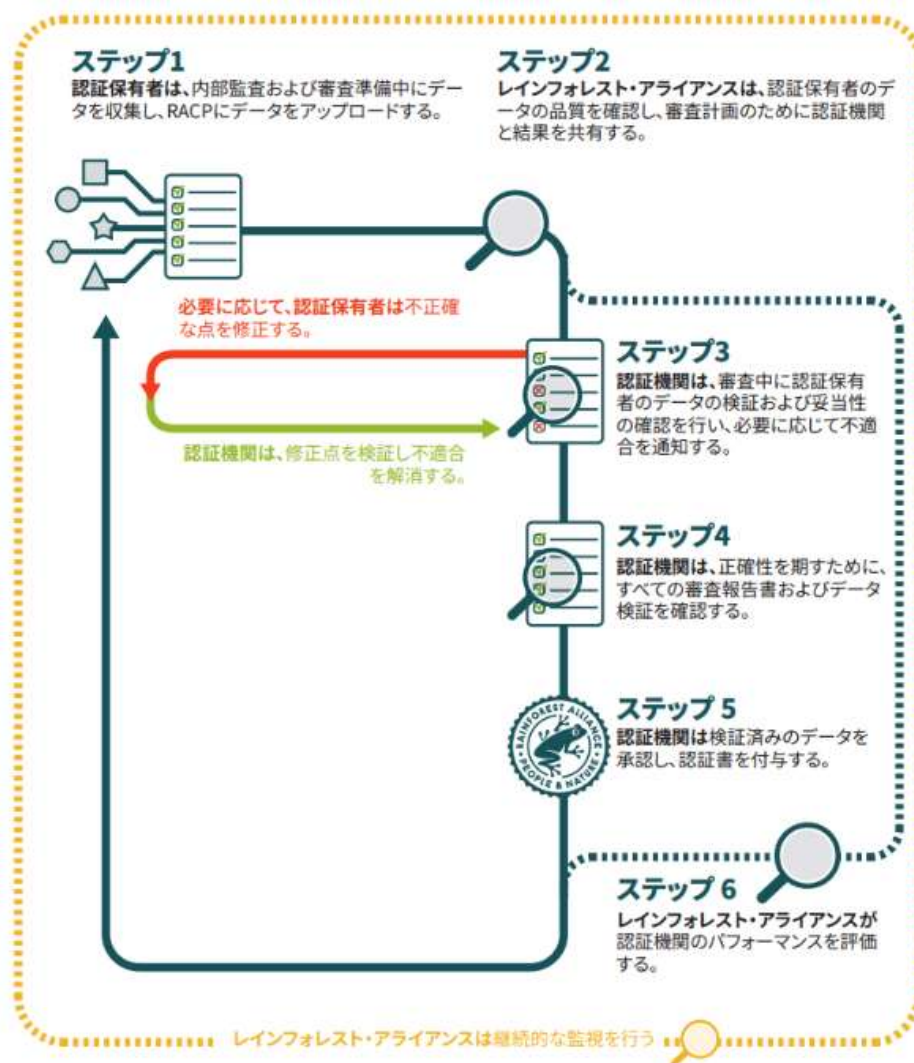
	団体認証			個別認証
	小規模農場	大規模農場	団体責任者	小規模/大規模
<b>個別認証の小規模農場と大規模農場にチェックマーク</b>				
個別に認証された小規模農場または大規模農場は、これらのデータ項目を収集する必要がある。				✓
<b>団体認証の団体責任者にチェックマーク</b>				
このデータ項目は、団体全体に適用され、団体を管理する職員が、団体の全構成員（小規模と大規模の両方）と各自の業務に関して、このデータ項目を収集する責任を負う。			✓	
<b>団体認証の大規模農場にチェックマーク</b>				

## 1.7 指標データ

資料：  
「付属文書  
指標データ」

「レインフォレス  
ト・アライアンス  
手引き：データの  
収集・検証・妥当  
性確認」

# 新・データ検証および妥当性 確認手順





## 1.7 指標データ

資料：

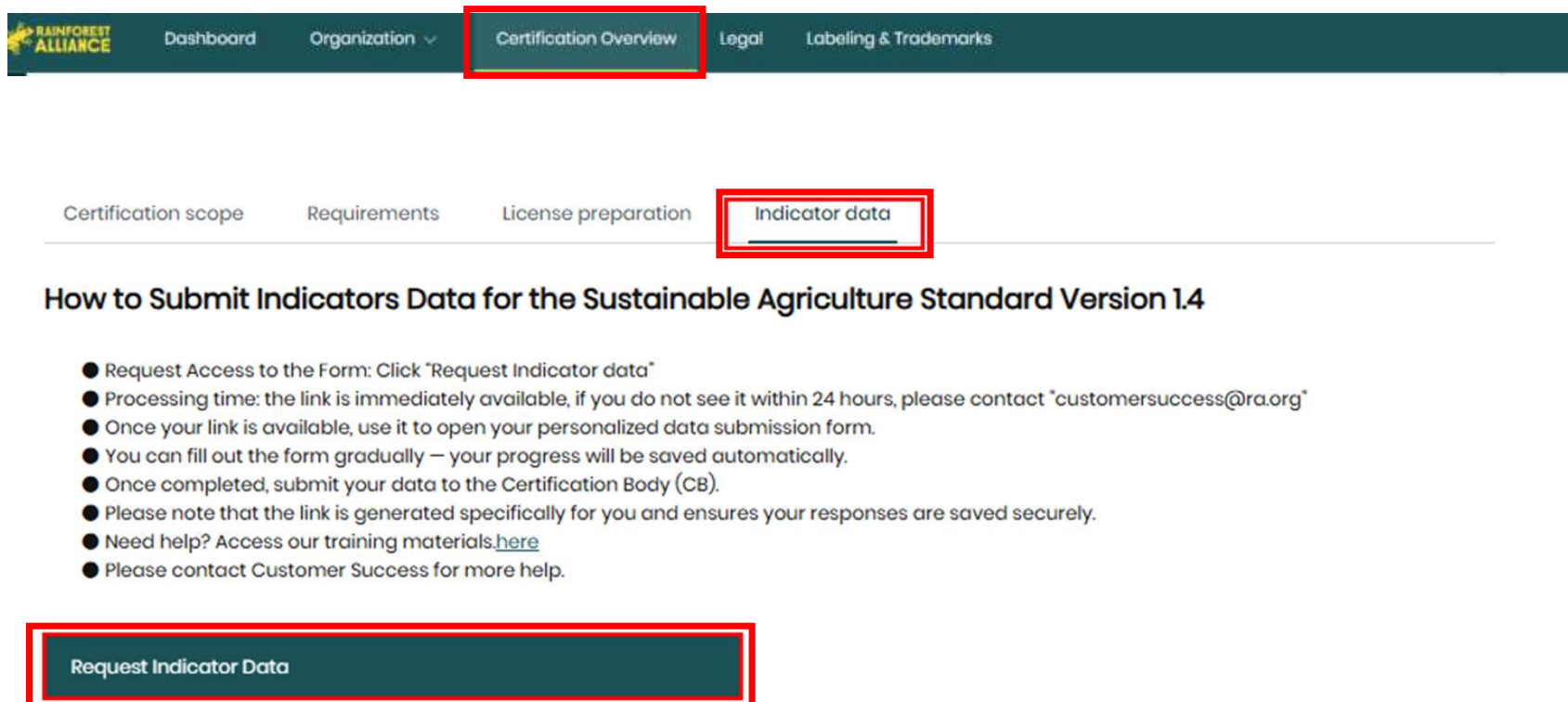
「[付属文書  
指標データ](#)」

「[レインフォレスト  
ト・アライアンス  
手引き：データの収  
集・検証・妥当性確  
認](#)」

「[New Data Tool](#)」

「[RACPマニユア  
ル：指標データの報  
告](#)」

# 指標データの提出



The screenshot shows the Rainforest Alliance Certification Overview page. The navigation bar at the top includes links for Dashboard, Organization, Certification Overview (highlighted with a red box), Legal, and Labeling & Trademarks. Below the navigation bar, the 'Indicator data' tab is selected and highlighted with a red box. The main content area is titled 'How to Submit Indicators Data for the Sustainable Agriculture Standard Version 1.4'. It contains a list of instructions for submitting indicator data, including requesting access to the form, processing time, and how to use the personalized data submission form. At the bottom of the page, a button labeled 'Request Indicator Data' is highlighted with a red box.

RAINFOREST ALLIANCE Dashboard Organization Certification Overview Legal Labeling & Trademarks

Certification scope Requirements License preparation Indicator data

### How to Submit Indicators Data for the Sustainable Agriculture Standard Version 1.4

- Request Access to the Form: Click "Request Indicator data"
- Processing time: the link is immediately available, if you do not see it within 24 hours, please contact "customersuccess@ra.org"
- Once your link is available, use it to open your personalized data submission form.
- You can fill out the form gradually – your progress will be saved automatically.
- Once completed, submit your data to the Certification Body (CB).
- Please note that the link is generated specifically for you and ensures your responses are saved securely.
- Need help? Access our training materials [here](#)
- Please contact Customer Success for more help.

Request Indicator Data



## 1.7 指標データ

資料：

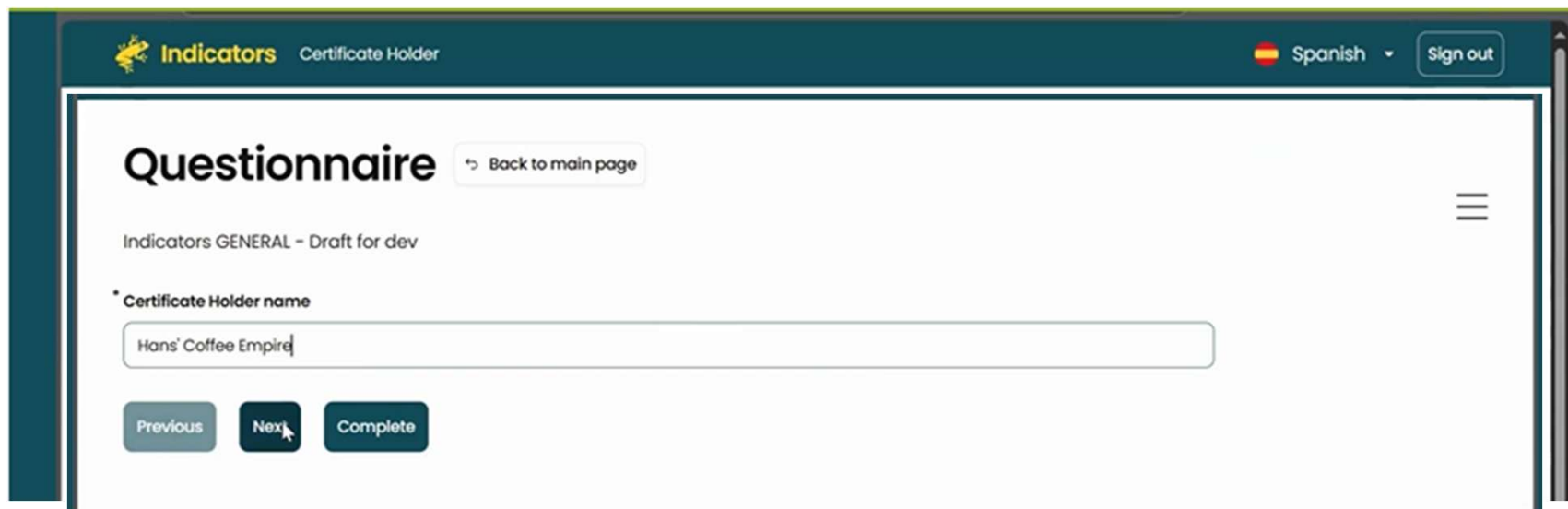
「[付属文書  
指標データ](#)」

「[レインフォレスト・アライアンス  
手引き：データの収  
集・検証・妥当性確  
認](#)」

「[New Data Tool](#)」

「[RACPマニユ  
アル：指標データの報  
告](#)」

# 指標データの提出



The screenshot shows a web interface for the 'Indicators Certificate Holder' section. The header includes the 'Indicators' logo, the text 'Certificate Holder', a language dropdown set to 'Spanish', and a 'Sign out' button. The main heading is 'Questionnaire' with a 'Back to main page' link. Below this, it says 'Indicators GENERAL - Draft for dev'. A required field labeled '\* Certificate Holder name' contains the text 'Hans' Coffee Empire'. At the bottom are three buttons: 'Previous', 'Next' (which is highlighted with a mouse cursor), and 'Complete'. A hamburger menu icon is visible on the right side of the page.

注意：記入項目は画面表示言語に関わらず、  
すべてその他RACP登録情報に合わせて  
**英語で記入**してください。

## 1.7 指標データ

資料：  
「[付属文書  
指標データ](#)」

「[レインフォレス  
ト・アライアンス  
手引き：データの収  
集・検証・妥当性確  
認](#)」

「[New Data Tool](#)」

「[RACPマニユア  
ル：指標データの報  
告](#)」

# 指標データの提出

\* For other pesticides in powder or solid form, estimate their TOTAL volume (in kg) applied by smallholder farms within your group (applied.)

For example, WP, GR or DP formulations

Please note: a foliar fertilizer (although sprayed on the crop) should NOT be added here.

Total volume (in liters) of pesticides used: 32

Total volume (in kg) of pesticides used: 14

▶ Irrigation

\* Do smallholder farms in your group at times irrigate the certified crop?

☒ Yes

☐ No

\* What is the total amount of water (in liters) used for irrigation by smallholder farms within your group over the last calendar year?

Total amount of water (in liters) used for irrigation is: 2000

This ends all questions related to the small farms in your group.

Previous

Next

Complete

- 日陰樹と自然植生
- 肥料の使用量
- 農薬管理
- 灌漑用水
- 加工用水
- 燃料使用
- 児童労働
- 強制労働
- ジェンダー差別
- その他差別
- 暴力とハラスメント

注意：記入項目は画面表示言語に関わらず、  
すべて英語で記入してください。

## 1.7 指標データ

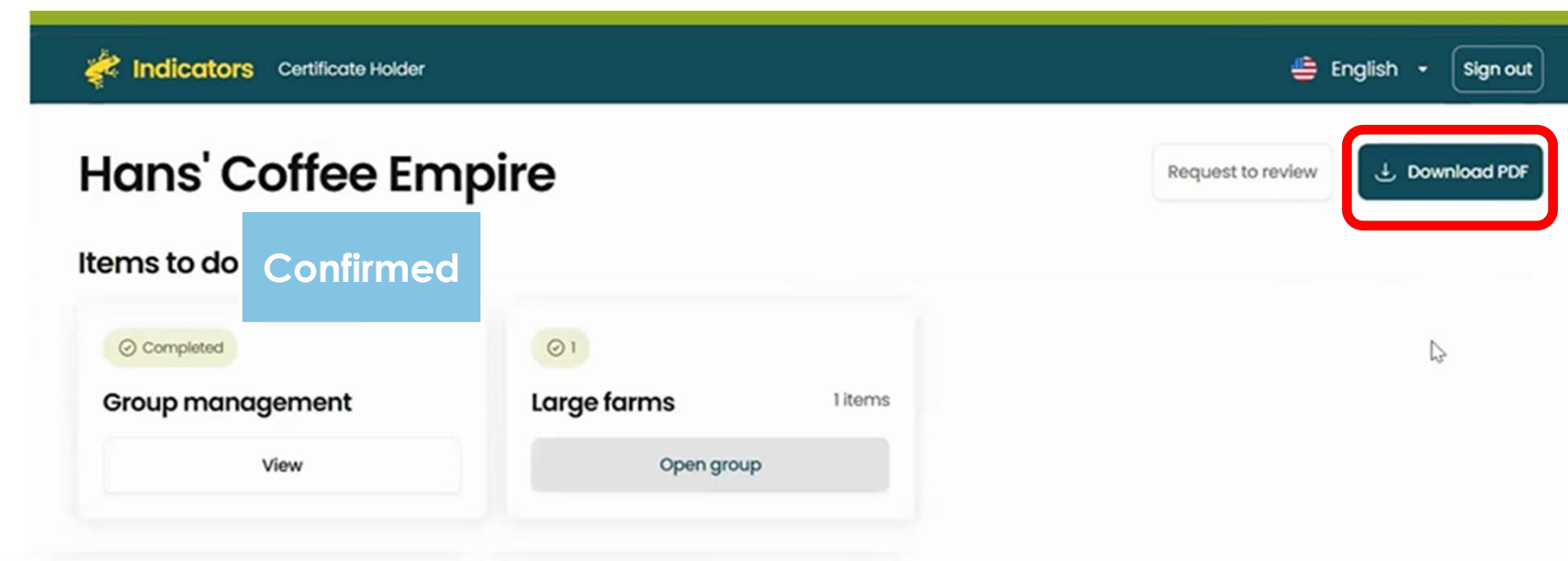
資料：  
「[付属文書  
指標データ](#)」

「[レインフォレスト・アライアンス  
手引き：データの収  
集・検証・妥当性確  
認](#)」

「[New Data Tool](#)」

「[RACPマニュアル：指標データの報  
告](#)」

# 指標データの提出



Indicators Certificate Holder

English Sign out

## Hans' Coffee Empire

Request to review **Download PDF**

Items to do **Confirmed**

Completed

Group management View

1 Large farms 1 items Open group

## 第2章：トレーサビリティ

## 第2章：トレーサビリティ

2.1 トレーサビリティ

2.2 オンラインプラットフォーム上のトレーサビリティ

2.3 マスバランス

関連資料

[付属文書 トレーサビリティ（第1.3版）](#)

「[茶類認証保有者向けオンライン・トレーサビリティにおける例外方針](#)」は追って案内があるまで、引き続き有効です。

認証製品は小売り業者から農場まで追跡可能で（マスバランスを除く）、認証を謳う上での信用性と信頼性を保証する上でもトレーサビリティは重要です。

主な取り組み

- 認証品生産の正確な記録
- 認証品と非認証品を分ける
- 販売、転換、および商標使用の管理

強力なトレーサビリティシステムは消費者の信頼を築き、認証制度が正しく、公平に機能することを強化します。

# 変更点の概要：トレーサビリティ

## 主な変更点

2.1.1	トレーサビリティ	適用対象：適用判断の明確化に伴い、大規模農場を削除しました。
2.1.5	トレーサビリティ	誤字：3段落目の「Data」を「Date」に修正しました。（英語版）
2.1.9	トレーサビリティ	明確化：団体における大規模農場への適用を追加しました。
2.1.10	トレーサビリティ	調整：明確化のため、「定義」を「測定」に書き換えました。
2.2.1	オンラインプラットフォーム上のトレーサビリティ	調整：明確化のために文章を簡略化しました。
2.2.3	オンラインプラットフォーム上のトレーサビリティ	(旧2.2.4)
2.2.4	オンラインプラットフォーム上のトレーサビリティ	新しい要件です。
2.3.3	マスパランス (MB)	(旧2.3.5) 2.3.3と2.3.5の番号を入れ替えました。
2.3.5	マスパランス (MB)	(旧2.3.3) 2.3.3と2.3.5の番号を入れ替えました。

## 削除された要件

2.2.3

## 変更点の概要：トレーサビリティ

- 要件を明確にするための**軽微な変更**（例：表現など）
- 支払条件に従った**ロイヤルティ支払い**の検証を裏付けるための要件（2.2.4）を追加
  - **責任の明確化を促進し**、ロイヤルティの支払いが正確かつ透明性をもって行われることを確実にする

2.2.4 ロイヤリティ（使用料）は、使用許諾契約書（ライセンス同意書）、規約条件、および/または請求書に記載された支払い条件に従い、税控除なしに全額支払われる。

参考資料：「A-05-SCRL-B-CH 付属文書 トレーサビリティ」

ロイヤルティについての詳細は「[レインフォレスト・アライアンス使用許諾契約書一般条項](#)」を参照

## 「茶類認証保有者向けオンライン・トレーサビリティにおける例外方針」

- 例外方針に基づき、現在もオンライン・プラットフォームでのトレーサビリティ報告が免除されています。
- 一次加工業者および梱包業者と定義される認証保有者においては専用申請フォームを用いて認証数量の加工についての報告を実施し、レインフォレスト・アライアンスがオンライン・プラットフォームへの入力を代行しています。
- すべての茶類認証保有者は引き続き、購入、受領、加工、梱包、出荷、販売の過程全体を通して、トレーサビリティが維持されていることを示す証拠を審査員に提供する責任を負います。

資料：  
「茶類認証保有者  
向けオンライン・  
トレーサビリティ  
における例外方  
針」



## 第3章 : プレミアム

## 第3章：プレミアム

### 3.1 プレミアム

#### 関連資料

[付属文書 プレミアム（第1.3版）](#)

#### プレミアム：

市場価格、品質に対する割り増し料金、その他の差額に上乗せして生産元の農場認証保有者に対して支払う、追加の金銭的支払い。

#### 責任の共有を促進

- 持続可能性のための費用は生産者とバイヤーの間で公平に分配される。
- プレミアムの章ではこの共有の投資がどのように機能するかを定義しています。
- プレミアムはバランスを回復し、持続可能な農業を支援するための手段です。

## 「責任の共有」への新たな取り組み

2020持続可能な農業基準では、サステナビリティ差額（SD）およびサステナビリティ投資（SI）を以下を目的として導入しました。

- サプライチェーン全体での責任の共有を向上させること
- 公正なサプライチェーンの促進
- 持続可能性という観点での「頂上を目指す競争」の創出

### これまでのアプローチから得られた結論：

- 野心的な取り組みながら、市場関係者による受け入れには課題があった
- 貴重な知見の提供
- 私たちは学び、適応し、進化し続けているということ

## 新しいアプローチ

- ❑ 関係者の皆様から、「SD」と「SI」という用語が不必要に複雑であるという指摘を受け、今後は「**プレミアム**」という用語の使用に変更。
- ❑ これまでSDとSIの**両方**を通じて行なわれていた投資（現金および現物）を、数量ベースの単一かつ簡素化された金銭的支払いのみのプレミアムに統一。
- ❑ プレミアム支払い以上のことを行い、数量に関係のない農場または農場生産者団体に特定の投資を行いたい企業やブランド向けに、持続可能な農業基準の枠組みの外でそのような投資を行うための仕組みを、別途開発中です。

## 変更点の概要：プレミアム

### 主な変更点

### 削除された要件

3.1.1,  
 3.1.2,  
 3.2.1,  
 3.2.2,  
 3.2.3,  
 3.2.4,  
 3.2.5,  
 3.2.6,  
 3.2.7,  
 3.3.1,  
 3.3.2 L1  
 (3年目) ,  
 3.3.3 L1  
 (3年目) ,  
 3.3.4,  
 3.3.5,  
 3.3.6

3.1.1	プレミアム	新しい要件です。
3.1.2	プレミアム	新しい要件です。
3.1.3	プレミアム	新しい要件です。
3.1.4	プレミアム	新しい要件です。

## 変更点

### 団体構成員へのプレミアムの分配

- プレミアムの**少なくとも40%**は、現金またはその他の金銭的な形で団体構成員に支払わなければなりません。以前は100%を団体構成員に支払う必要がありました。
- 団体責任者が保持する残額は、**生産者または労働者**に利益をもたらす形で使用することが定められています。
- プレミアムは現物で支払うことはできず、**最低金額**が定められている場合は最低額が規定されている農作物については、少なくとも最低額を満たさなければなりません。**カカオ**では最低額が規定されています。
- 団体構成員は、プレミアムの使い道について**詳細な報告**をする必要は**ありません**。

参照：  
[「方針：サステイナビリティ差額およびサステイナビリティ投資からプレミアム方針への移行」](#)

## プレミアムの報告

- （金額に関わらず）必須
- 生産者への**認証プログラムの影響**を把握するのに役に立つ
- バイヤーへの**透明性を促進するため**

# プレミアムの契約と報告の手順

茶類を除く

茶類を除く

手順1
<b>契約または合意書の一部としてのプレミアム</b>
<p>生産者およびバイヤーは、以下の内容を記載した契約書または合意書を締結する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレミアム価格（金額に関わらず）</li> <li>・ 期間/周期ごとの支払い条件</li> </ul>
手順2
<b>トレーサビリティプラットフォームでの支払いと報告</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイヤーは最低必要金額を支払う必要がある（該当する場合）</li> <li>・ 認証保有者は、トレーサビリティプラットフォームでプレミアムについて（金額に関わらず）報告する</li> </ul>
手順3
<b>団体構成員への支払い</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体責任者は、少なくとも40%を、団体構成員に現金またはその他の金銭的な支払いで分配する</li> </ul>
手順4
<b>管理計画における報告</b>
<p>以下の文書化：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受け取ったプレミアム（合計額および数量別）</li> <li>・ 団体構成員に支払われた金額</li> <li>・ 団体責任者のプレミアムの使用方法</li> </ul>



参照：

「方針：サステイナビリティ差額およびサステイナビリティ投資からプレミアム方針への移行」

## プレミアム（茶類）

- 支払い責任者は**ブランドオーナー**。  
外食サービスおよび小売ブランドオーナーの場合は、ブランドオーナーのために製品製造を実施する業者（梱包業者）が数量を引き換え、プレミアムの金額を支払うことが可能ですが、ブランドオーナーは梱包業者が代理で支払ったプレミアムを払い戻さなければなりません。
- 数量に応じてプレミアムの金額を支払う。
- 農場認証保有者への支払いはレインフォレスト・アライアンスの決済サービス（Convera）を介して行われ、請求書はブランドオーナーへ送付される。
- オンライントレーサビリティにおいては「茶類認証保有者向けオンライン・トレーサビリティにおける例外方針」が適用される。

## 第4章：農業

## 第4章：農業

- 4.1 種苗と輪作・改植
- 4.2 樹木作物の剪定と更新と植え替え
- 4.3 遺伝子組み換え作物（GMO）
- 4.4 土壌肥沃度と保全
- 4.5 統合的病害虫管理（IPM）
- 4.6 農薬管理
- 4.7 収穫および収穫後の慣行

関連資料  
[付属文書 農業（第1.3版）](#)

持続可能な農業は「生産性と収益性の向上」「自然資源と生態系の保護」「気候変動がもたらす不確実性に対応し、適応し、回復できる力の強化」を意味します。

また「より強靱な農場」「農作物の生産性向上と収益性向上」「土壌肥沃度の向上、水資源の保全、生態系の向上」「農薬による健康と環境へのリスクの低減」などの利益をもたらします。

農業の章では、持続可能な生産慣行、土壌肥沃度と保全、統合的病害虫管理（IPM）、安全な農薬管理に焦点を当てています。

## 変更点の概要：農業

- 一部要件の削除および簡素化であり**変更はほとんどない**
- **統合的病害虫管理（IPM）**に対する要件の簡素化

## 変更点の概要：農業

### 主な変更点

### 削除された要件

4.2.2,  
4.2.3,  
4.3.2,  
4.5.2,  
4.5.3,  
4.5.4,  
4.5.5 L1  
(3年目),  
4.5.7,  
4.5.8 L2  
(6年目),  
4.6.14,  
5.2.4 L1  
(3年目)

4.1.1	種苗と輪作・改植	適用対象：適用判断の明確化に伴い、団体責任者を削除しました。
4.1.2	種苗と輪作・改植	調整：責任に関する説明を追加しました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、チェックマークを調整しました。
4.1.3	種苗と輪作・改植	調整：IPM戦略への参照を追加しました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、団体責任者を削除しました。
4.2.1	樹木作物の剪定と更新と 植え替え	調整：責任に関する説明を追加しました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、チェックマークを調整しました。
4.4.3	土壌肥沃度と保全	(旧4.4.4)
4.4.6	土壌肥沃度と保全	(旧4.4.7 MSM) 調整：指標を削除しました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、団体責任者を削除しました。
4.5.1	統合的病害虫管理 (IPM)	調整：要件の文言を変更。(病気・害虫被害の) 閾値レベルを要件に盛り込みました。
4.5.2	統合的病害虫管理 (IPM)	(旧4.5.6 L2) 適用対象：新しい適用条件の反映に伴い、団体責任者を削除しました。
4.6.2	農薬管理	明確化：従うべきEUPの手順を指定しました。 適用対象：新しい適用条件の反映に伴い、団体責任者を削除しました。
4.6.11	農薬管理	明確化：適用対象を追加しました。
4.7.1	収穫および収穫後の慣行	明確化：管理上の責任を明確にしました。
4.7.2	収穫および収穫後の慣行	明確化：管理上の責任を明確にしました。

## IPM要件の簡素化

- 8つの要件が2つの要件に**縮小**
- （IPM専門家と協議しつつ）認証保有者が**独自のIPM戦略**を作成
- IPM戦略は**文書化**し、内部監査および審査で確認できるようにしなければならない
- IPM戦略には、**予防、監視、閾値レベル、介入策**の詳細を含める必要がある
- 手引き書H：統合的病害虫管理（IPM）は引き続き利用可能

## 第5章：社会

## 第5章：社会 項目

5.1 児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントの評価対処

5.2 結社の自由と団体交渉

5.3 賃金と契約

5.4 生活賃金

5.5 労働条件

5.6 健康と安全

5.7 住居と生活条件

5.8 コミュニティ

関連資料

付属文書 社会（第1.2版）

生産者、労働者、その家族とコミュニティの社会経済的地位の強化

すべての人々の人権と平等の促進

人権リスクは「事前評価対処方式」を通じて特定され、対応：

- 予防、検出、是正を促進
- 事案の隠蔽を避けるため、オープンな対話の促進

生計

- 収入と福祉の向上を目指す
- 生活賃金格差と賃金の透明性を支援
- 労働者の権利の尊重：団体交渉、安全な労働・生活環境、社会的弱者のグループへの平等と包括性



## 変更点の概要：社会

### 2つの重要な変更点

- 必須改善要件の削減
- 生活賃金の要件が1つの要件に統合

# 変更点の概要：社会

## 主な変更点

### 削除された要件

5.2.4 L1（3年目），  
 5.3.11 L1（3年目），  
 5.3.12 L1（3年目），  
 5.4.2，  
 5.4.3，  
 5.4.4，  
 5.4.5，  
 5.4.5，  
 5.6.12，  
 5.6.15，  
 5.6.17 L1（3年目），  
 5.6.18 L2  
 （6年目），  
 5.6.8，  
 5.7.5 L1（3年目），  
 5.7.6 L2（6年目），  
 5.7.7 L1（3年目），  
 5.8.4 L2（6年目）

5.1.1	児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントの事前評価対処	明確化：委員会に関する記述を明確にしました。 削除：要件1.1.5への参照を削除しました。
5.1.2	児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントの事前評価対処	調整：リスク査定に関する記述から、「基本的な」という語を削除しました。
5.1.3	児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントの事前評価対処	明確化：第2段落の表現を変更しました。
5.1.7	児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントの事前評価対処	明確化：要件の表現を変更しました。
5.2.1	結社の自由と団体交渉	明確化：第2段落の表現を変更しました。
5.3.1	賃金と契約	調整：明確化のため「正規（労働者）および臨時」という文言を削除しました。口頭による契約に最低限必要な事項を記載しました。
5.3.3	賃金と契約	調整：CBA（団体交渉協定）の遵守に関する記述を含めました。
5.3.4	賃金と契約	（旧5.3.5）
5.3.5	賃金と契約	（旧5.3.6）
5.3.6	賃金と契約	（旧5.3.8）
5.3.7	賃金と契約	（旧5.3.10） 明確化：団体内の労働者が含まれることを明確にするため、「生産者」という語句を削除しました。
5.3.8	賃金と契約	（旧5.3.13）
5.4.1	生活賃金	調整：RA給与評価ツールの使用を削除しました。適用対象に関する説明を追加しました。 適用対象：適用判断の明確化を反映して調整しました。
5.5.2	労働条件	調整：生産者団体の小規模農場への適用性を明確にするため、アスタリスクを削除しました。
5.6.1	健康と安全	調整：明確化のため、文言の表現を変更しました。
5.6.2	健康と安全	明確化：「応急処置」を追加しました。
5.6.3	健康と安全	調整：警告および安全標識を追加しました。第1.3版の要件5.6.12を統合しました。
5.6.9	健康と安全	（旧5.6.10）
5.6.10	健康と安全	（旧5.6.11） 明確化：明確化のため、表現を変更しました。
5.6.11	健康と安全	（旧5.6.13）
5.6.12	健康と安全	（旧5.6.14）
5.6.13	健康と安全	（旧5.6.16）
5.8.2	コミュニティ	調整：文言を明確にしました。 適用対象：適用判断の明確化に伴い、団体責任者を削除しました。

## 必須改善要件の削減

- 必須改善要件のいくつかを削除。
- **事前評価対処**については依然として、継続的な改善が求められる。

認証保有者は、児童労働、強制労働、差別、職場内暴力とハラスメントに関連する**リスク**や**実際の事例**を**予防、特定、監視、是正**するための**具体的な対策**を実施します。

これらのリスクに対処するため、**リスク軽減策**を**管理計画**に盛り込み、**実施し、監視**する必要があります。

これらのリスク査定は、**3年ごと**に繰り返し実施しなければなりません。中程度および高リスクの問題については、さらに詳細なリスク査定を実施する必要があります。

## 生活賃金の要件が1つの要件に統合

生活賃金は、新たな考え方、研究、実践の面で、新しく生まれた分野です。過去4年間、認証保有者、企業、レインフォレスト・アライアンスは、レインフォレスト・アライアンス2020持続可能な農業基準の実施を通して、以下の取り組みを進めてきました。

- 意識改革
- 生活レベルでの変化
- データの収集

生活賃金のベンチマークの定義や、生活賃金格差を算出するためのツールや手順については、まだ多くの不確実性が残っているため、これまでのアプローチでは望ましい効果が得られませんでした。こうした不確実性はレインフォレスト・アライアンスに限らず、他の組織や研究機関でも発生しています。

## 変更点：生活賃金

第1.3版では、生活賃金の要件として**3つ**の主要な要件がありましたが、第1.4版では、これら3つの主要要件が**1つ**の要件に統合されました。これは、本基準の他の部分の**簡素化**に合わせるためです。

- ❑ 生活賃金の指標を削除。
- ❑ 生活賃金ベンチマークとの比較は、依然として関連性があります。ただし、比較対象が世界生活賃金連合のベンチマークのみに限定されなくなり、現在は他の生活賃金ベンチマークも認められています。
- ❑ これらを計算する特定のツールについて提供せず、特定の手法を定めていません。
- ❑ 自己選択型要件およびスマートメーター要件を削除。

## 継続するもの

**生活賃金**は、持続可能性とレインフォレスト・アライアンスにとって、引き続き重要な項目分野であり続けます。

そのため、要件**5.4.1**では、責任者がすべての賃金と報酬の記録を保管し、これを推奨される生活賃金ベンチマークや、世界生活賃金連合またはその他の承認されたベンチマークと比較評価することが規定されています。

## 第6章：環境

## 第6章：環境

6.1 森林、その他の自然生態系と保護  
区域

6.2 自然生態系と植生の保全と強化

6.3 河畔緩衝帯

6.4 野生生物と生物多様性の保護

6.5 水の管理と保全

6.6 廃水管理

6.7 廃棄物管理

6.8 エネルギー効率

認証プログラムは生産者が永続的で健全な環境への影響を創出するのを支援します。

- 森林伐採と生態系の転換を防止
- 生物多様性を保全し、野生生物を保護
- 汚染、廃棄物、エネルギーの使用を削減
- 気候変動がもたらす不確実性に対応し、適応し、回復する手法を適用

関連資料

[付属文書 環境（第1.2版）](#)



## 変更点の概要：環境

- **わずかな変更のみ**
- **一部の必須要件または自己選択型要件の削除**（例：人間と野生動物の対立や、温室効果ガス排出削減における自己選択型スマートメーター）
  - 今後、一部は専門分野に特化した基準に移行されます。

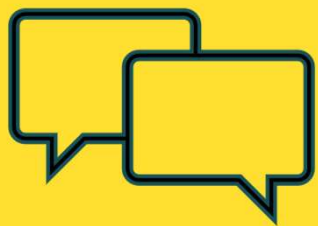
## 変更点の概要：社会

### 主な変更点

### 削除された要件

6.1.4 L1  
(3年目) ,  
6.2.5,  
6.2.6,  
6.4.7 L1  
(3年目) ,  
6.4.8 L1  
(3年目) ,  
6.4.9 L1  
(3年目) ,  
6.8.2,  
6.8.3 L1,  
6.9.1

6.1.3	森林、その他の自然生態系と保護区域	適用対象：適用判断の明確化に伴い、団体責任者を追加しました。
6.2.2	自然生態系と植生の保全と強化	明確化：明確化のため、表現を変更しました。
6.2.3	自然生態系と植生の保全と強化	調整：指標への参照を削除しました。自然植生の定義を削除しました。
6.5.2	水の管理と保全	(旧6.5.3)
6.5.3	水の管理と保全	(旧6.5.4 MSM) 調整：指標への参照を削除しました。適用に関する説明を追加しました。
6.5.4	水の管理と保全	(旧6.5.5 MSM) 調整：指標に関する記載を削除しました。
6.5.5	水の管理と保全	(旧6.5.6 SSI) 適用対象：団体責任者を削除し、要項事項に沿った記述にしました。
6.5.6	水の管理と保全	(旧6.5.7)
6.7.1	廃水管理	明確化：明確化のため、表現を変更しました。
6.7.3	廃水管理	調整：適用に関する説明を追加しました。



## 質疑応答

## 質問

IPM戦略を文書化するとありましたが、どのような形で文書化しておけばいいですか？

## 回答

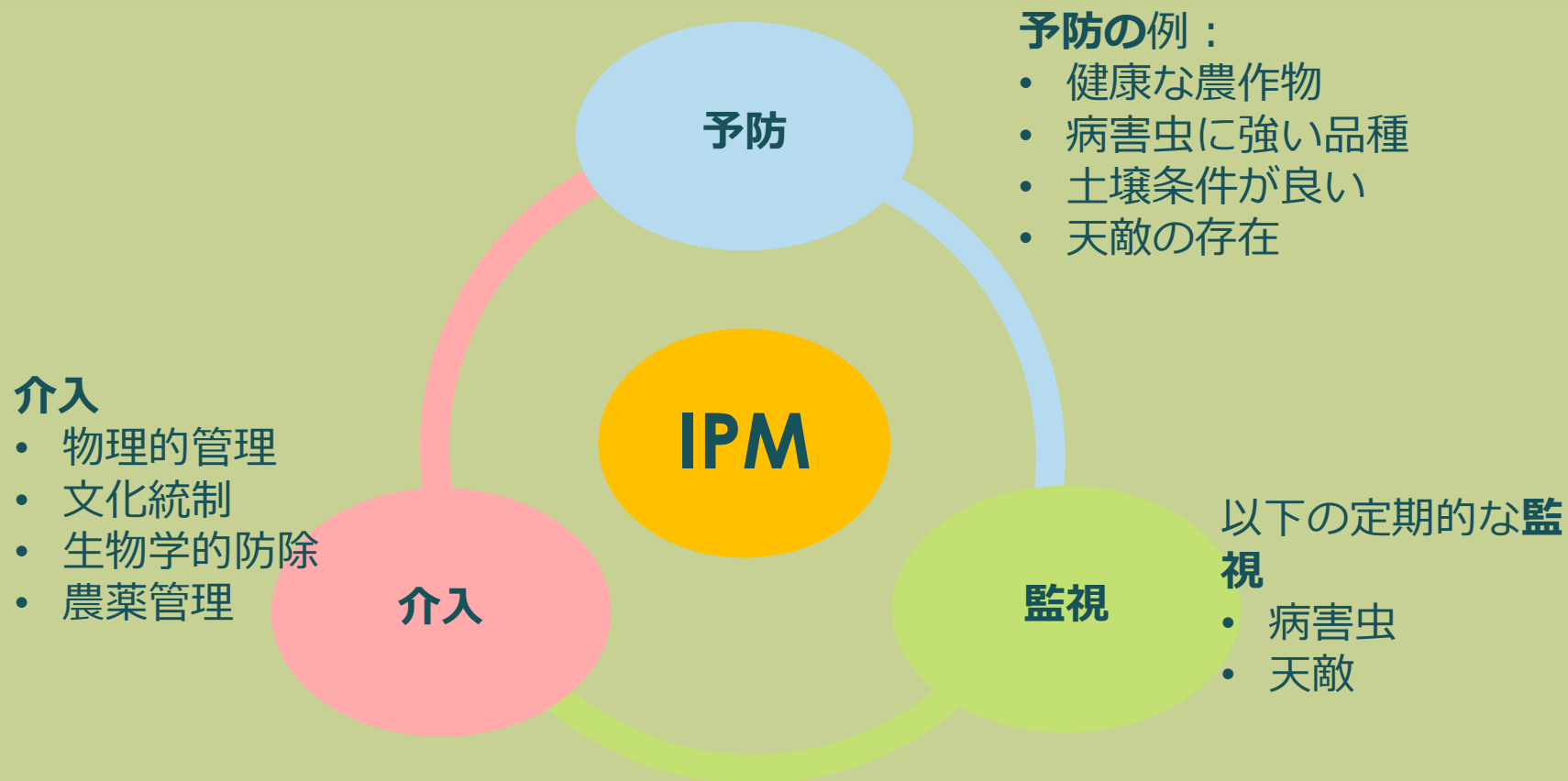
1.3版までと要件実施内容に変更はありません。形式についての規定はありません。

要件4.5.1では「責任者は、加工処理施設も含め、能力ある専門家が開発したIPM戦略を文書化し、実践する。この戦略には、予防、監視、閾値レベル、介入策が含まれる。」となっています。

- 例えば、農作物を健康で丈夫に保つことで、病害虫にかかるリスクを低減できます。また害虫に強い品種を選択し、土壌環境を改善し、生物多様性を保全することで、農場で天敵を増やすことができます。→「予防」
- トラップと植物検査を使用して、病害虫と天敵のレベルを定期的に確認、仮定ではなく現場データに基づく行動、日付、場所、病害虫/敵の種類、数を記録する。→「監視」
- 化学薬品を使用する前に、以下を行う。  
物理的：罨、障害物、手抜き  
文化的：浸透/疫病した部位を取り除く  
生物学的：天敵を増やす、または病害虫に特有の病原体を使用する。  
病害虫が基準値を超え、収穫量が脅かされる場合にのみ、化学薬品を使用する。
  - 毒性の低いラベル（青または緑）を選ぶ
  - スポット処理のみ
  - 製品/エリアの回転
  - スケジュールではなく監視に基づいて散布→「介入」

※参考資料を追加しました。

## 統合的病害虫管理（IPM）－化学農薬への依存を減らす



## 4.5.1

### 追加参考資料

## 統合的病害虫管理（IPM）

生産者は次を行わなければなりません。

- 環境に優しい方法を最初に使用して、病害虫の発生を防ぎ、個体数を監視し、必要な時のみ介入する
- 予防、監視、閾値、介入までを網羅した農場全体のIPM計画を専門家の意見を取り入れて作成する。
- 予防策を実施し、定期的に監視/記録し、規定値を超えて行動しない
- 物理的、文化的、生物学的防除、最終手段としての化学物質の使用
- データと条件に基づいて戦略を毎年見直し、更新する

## 4.5.1

### 追加参考資料

## 監視

生産者は次を行わなければなりません。

トラップ と植物検査を使用して、病害虫と天敵のレベルを定期的に確認

仮定ではなく現場データに基づく行動

日付、場所、病害虫/敵の種類、数を記録する。



## 4.5.1

### 追加参考資料

## 介入

IPM：農薬管理は最後の手段である

**化学薬品を使用する前に、次を使用してください。**

物理的：罨、障害物、手抜き

文化的：浸透/疫病した部位を取り除く

生物学的：天敵を増やす、または病害虫に特有の病原体を使用する

病害虫が基準値を超え、収穫量が脅かされる場合にのみ、化学薬品を使用する。

- 毒性の低いラベル（青または緑）を選ぶ
- スポット処理のみ
- 製品/エリアの回転
- スケジュールではなく監視に基づいて散布







**RAINFOREST  
ALLIANCE**

[rainforest-alliance.org](https://rainforest-alliance.org)

# **RAINFOREST ALLIANCE**